

健康づくりのまちなか拠点 市民ワークショップ

場所：旧弘前市立病院1階ホール

実施日：令和4年7月24日（日）、8月21日（日）、9月17日（土）

参加者：延べ102名（1回目：43名 2回目：27名 3回目32名）

協力：弘前大学北原特任教授、弘前建築家倶楽部、UR都市機構、昭和株式会社、株式会社地域計画連合

- ・市では、令和3年度に策定した「弘前市立病院・旧第一大成小学校跡地活用基本構想」をもとに、旧市立病院と旧第一大成小学校跡地を「健康づくりのまちなか拠点」として整備するため、現在、旧市立病院改修工事の基本設計等に着手しています。
- ・本拠点は、市民の健康づくりの拠点としての機能だけでなく、様々な地域活動に取り組む個人や団体の交流の場や、多様な学びの場として多くの方々にご利用いただける施設として整備いたします。
- ・今年度は、様々な活動を行っている団体の方々や、市内の大学生、高校生を対象に、本拠点でどのような活動をしてみたいか、そのためにどんな場所にしたいか、そして、どのように関わっていききたいかという視点から、3回にわたり、ワークショップを開催し、具体的な機能や活用方法について、様々なアイデアをいただきました。

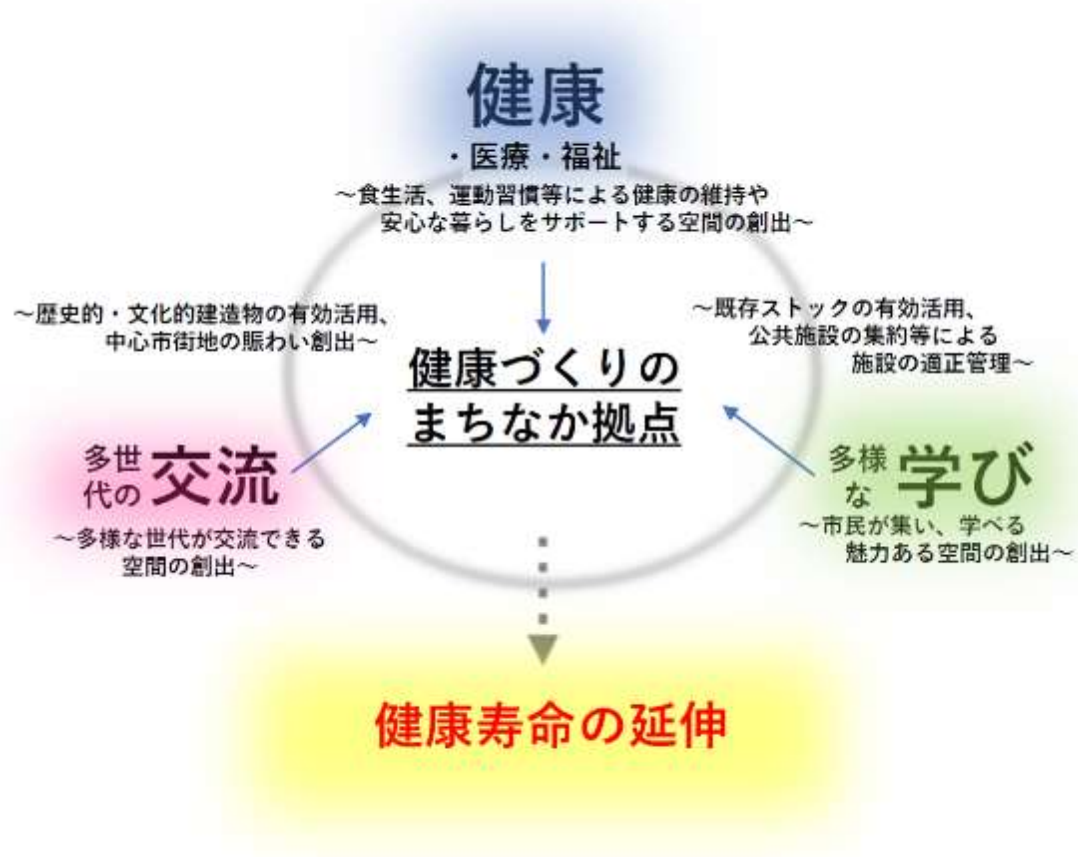


旧弘前市立病院



旧第一大成小学校跡地

<健康づくりのまちなか拠点の基本的な考え方と整備の方針イメージ>



第1回（令和4年7月24日） 「シーンを描こう！」 参加者：43名

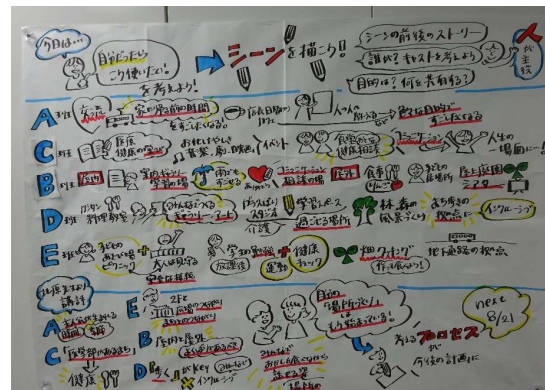
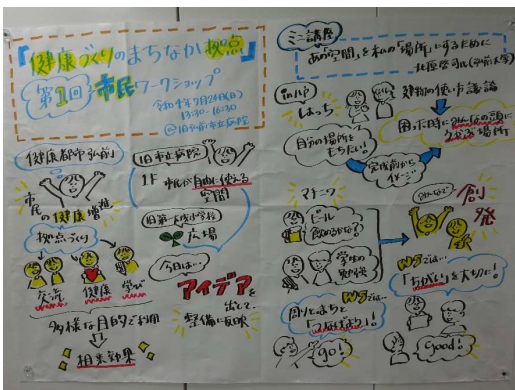
- ・市が目指す「健康都市弘前」の取組と、本拠点が目指すイメージについて説明を行い、弘前大学北原特任教授より、「自分ごと」で場所に関わる人の大切さや、ワークショップを場所づくりに活かした事例などについてお話をいただきました。
- ・参加者全員で、旧市立病院内を見学し、5グループに分かれ、本拠点でどのような「シーン（どんな人達がどんな場所で何をしている？）」が起こってほしいか、イラストと言葉で表現し発表しました。



仕事やサークルの話し合い、学習の場



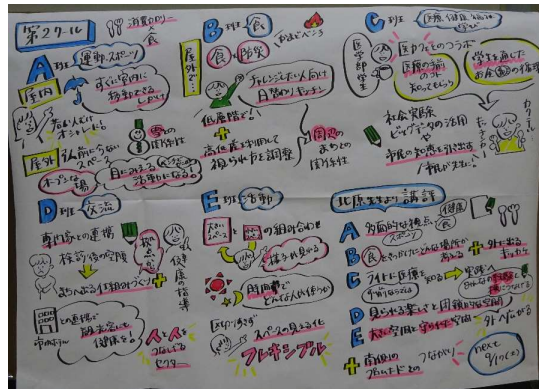
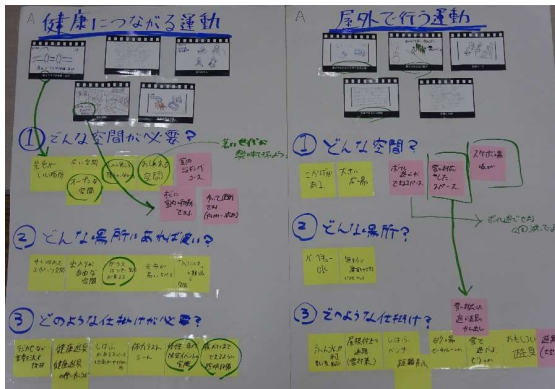
子どもが遊べる広場



広場での体操/キャンプや、健康料理を囲んだ交流など、100近いシーンが出ました。

第2回（令和4年8月21日） 「場のあり方を考えよう！」 参加者：27名

- ・前回の振り返りを行った後、北原特任教授より、前回と今回のワークショップのつながりや、ワークショップに取り組むうえでの留意点などについてお話をいただきました。
- ・次に、あらかじめ第1回に出されたシーンを、5テーマに分類し、テーマごとのグループに分かれて、シーンを実現するためには、どんな場所や仕掛けが必要か話し合っ発表し、グループのメンバーを入れ替えて、1クール目の意見を深掘り、発展させていきました。



建物や広場のしつらえ、関わる人や仕掛けなど、様々な角度から話し合いました。

第3回（令和4年9月17日） 「関わり方を考えよう！」 参加者：32名

- ・旧市立病院の設計を行う、株式会社前川建築設計事務所から、これまでのワークショップの意見を、今後の設計に反映していくためのポイントやアイデアについて紹介がされました。
- ・次に、第2回までの議論を振り返りながら、「自分」が取り組みたいアクション（プロジェクト）や、取組の中で「自分」がどう関われるか、施設ができる前、あるいはできた後に何をしたいか、テーブルごとに話し合いました。
- ・ワークの内容を基に、アクションのジャンルごとに、グループを3つに再編成し、アクションを実現させていくためのシナリオについて話し合いました。



参加者同士の連携や周辺のまちづくりにも関わる提案が出されるなど、充実の内容となりました。

～これから～

- ・これまでのワークショップやアンケート等でいただいたご意見を踏まえて、拠点全体の設計をとりまとめ、2027(令和9)年度頃の供用開始に向けて整備を進めていきます。
- ・多くの人に利用してもらえる施設となるよう、今後も整備段階から様々な方に関わっていただく機会を設けてまいります。

<健康づくりのまちなか拠点整備事業スケジュール>

【旧弘前市立病院】



【旧第一大成小学校跡地】

